

Arch-LOG 製品仕様書

<三晃金属工業 SH5000_GL>

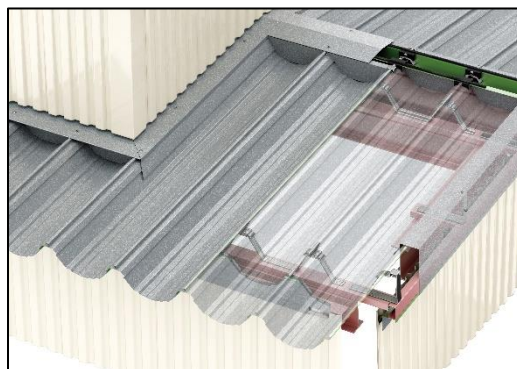
Arch-LOG BIM Object Specification for ARCHICAD

Arch-LOG 製品仕様書 <三晃金属工業 SH5000_GL>

本製品<SH5000_GL>は、仕様選定オプション付き製品の代表品番となっています。オプションに含まれるその他の品番に関しましては、Arch-LOG Web カタログの製品仕様選定画面より、各プルダウンリストから仕様を選択していただくことで確定します。選定した製品は、品番に対応した個別の仕様を持ちます。ダウンロードしていただくオブジェクトは、Arch-LOG 製品分類が<3DBIM>となっており、各部の寸法値はパラメータによる変更が可能です。個別の製品が持つ仕様(オプションで選定した仕様)に関しては、変更ができません。その為、本製品のファミリにあらかじめアサインされた屋根材のマテリアルについて、プロジェクトで変更する為のパラメータはございません。アサインされた屋根材のマテリアルは、[Iray for ARCHICAD]を使用いただくことで、高解像度テクスチャを使用したフィジカルな高品質マテリアルに置換され、高精細かつフォトリアルなレンダリング結果を得ることができます。

製品概要 (代表品番)

企業名	: 三晃金属工業株式会社
シリーズ名	: 金属屋根 折版 馳タイプ
製品名	: 丸馳折版ロック I 型_GL 生地
製品 ID	: SH5000_GL
製品説明	: 折版 機能性折版、屋根材



GSM 仕様

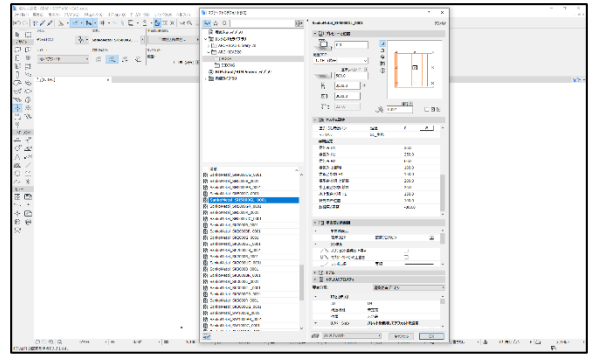
GSM 名	: SH5000_GL
組み立て要素	: オブジェクトツール



■ プロジェクトでの配置方法

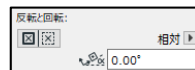
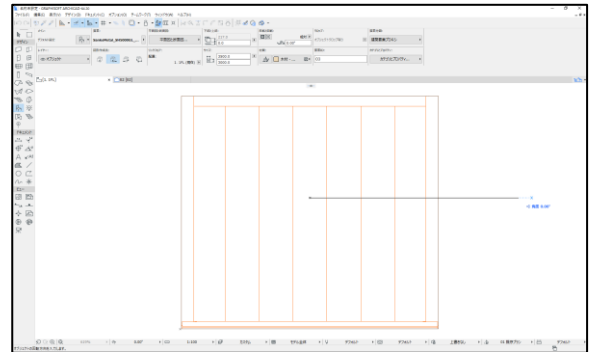
事前にプロジェクトに、ライブラリを追加します。

オブジェクトツールから SH5000_GL を選択し、平面図ウィンドウ上で配置します。



配置後は、オブジェクトの中心から任意の角度を設定して回転することができます。

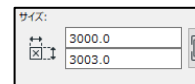
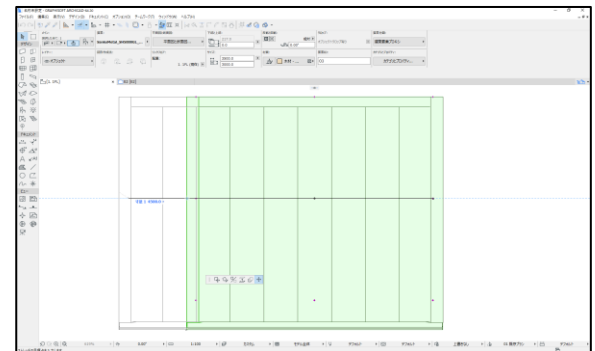
情報ボックスの[反転と回転:]から数値入力することもできます。



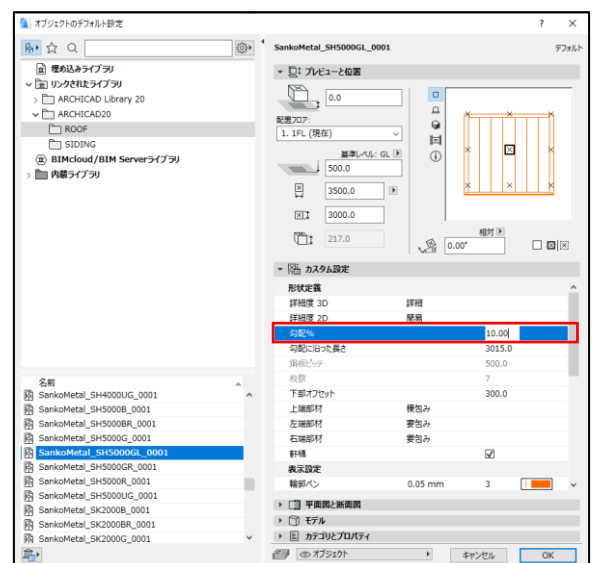
オブジェクトの基準位置は上下左右の中心になります。

配置後、上下左右の範囲調整はダイヤモンド型ホットスポットをクリックして編集ができます。

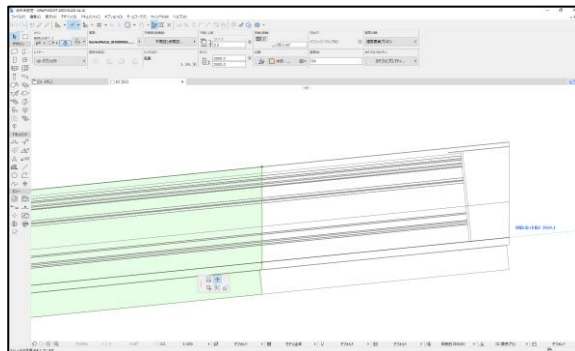
情報ボックスの[サイズ:]から数値入力することもできます。



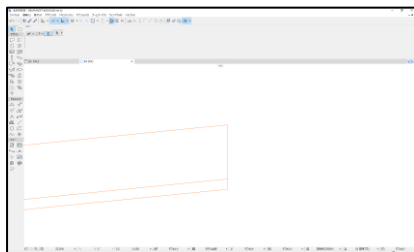
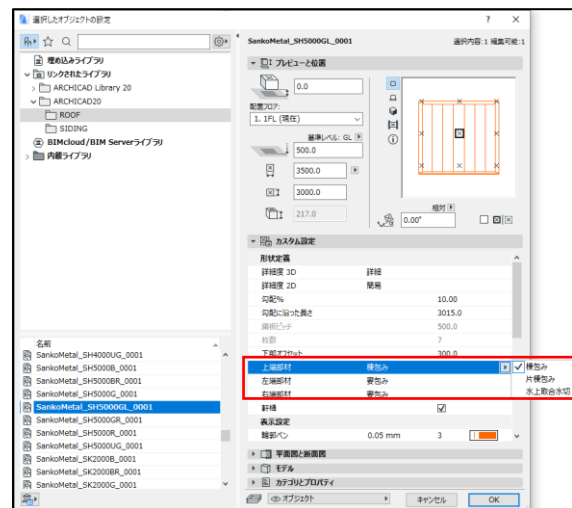
断面、立面図ウィンドウなどで勾配を確認し、[選択したオブジェクトの設定] から [カスタム設定] 内にある[勾配%]から屋根勾配を設定します。



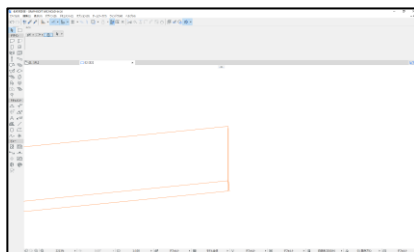
上下方向の配置位置の調整方法については、平面図ウィンドウの他に断面、平面図ウィンドウからダイヤモンド型ホットスポットをクリックして調整することもできます。



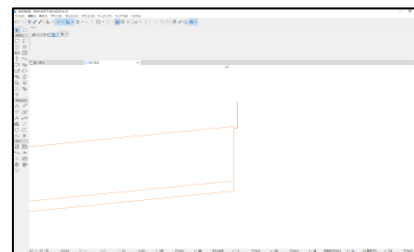
「選択したオブジェクトの設定」から「カスタム設定」内にある[上端部材]から[軒包み][片軒包み][水上取合水切]に変更することができます。



軒包み



片軒包み



水上取合水切

主な設定の概要

[選択したオブジェクトの設定]内の[カスタム設定]を編集して、屋根形状を変更できます。

形状定義

各部品の表示/非表示や勾配を設定できます。

形状定義		
詳細度 3D	詳細	
詳細度 2D	簡易	
勾配%		10.00
勾配に沿った長さ		3015.0
銅板ピッチ		500.0
枚数		7
下部オフセット		300.0
上端部材	棟包み	
左端部材	妻包み	
右端部材	妻包み	
軒樋		<input checked="" type="checkbox"/>

表示設定

ペンの色や塗りつぶしを設定できます。

表示設定				
輪郭ペン	0.05 mm	3		
塗りつぶし	背景			
塗りつぶしペン	0.05 mm	3		
塗りつぶし背景ペン	透過	0		
マテリアル	GL_生地			

詳細設定

妻包み、妻取合水切、水上取合水切、軒先の設定ができます。

詳細設定	
妻包み D1	30.0
妻包み H1	310.0
妻包み H2	60.0
妻包み 上部幅	205.0
妻取合水切 H1	150.0
妻取合水切 上部幅	225.0
水上取合水切 離れ	20.0
水上取合水切 H1	150.0
軒先面戸位置	100.0
軒樋高さ調整	-300.0

■ オブジェクトを使用する際の注意点

本オブジェクトは、通常の操作においては、[詳細度 3D]を
＜簡易＞ にしておくことを推奨いたします。

特にオブジェクトをプロジェクトで移動したり、3D ビューで
カメラアングルを変更するなどの操作では、＜詳細＞ 設定の
場合、スムーズなビューコントロールができなくなることがあります。

